

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	中国語第二		
英文授業科目名	Elementary Chinese II		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 電子工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	范 建明		
居室	東1-514		

公開E-Mail	授業関連Webページ
fanming@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
中国語の発音・基礎文法・会話の習得し、実用中国語技能検定試験の5級または準4級に合格できる力をつけること。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
中国語第一。

【教科書等】
教科書：身につく 中国語コミュニケーション 入門編 范建明 著

【授業内容とその進め方】
<p>1：授業案内、第1期の内容の復習</p> <p>2：動詞文における時間の表現（文における時間名詞の場所）</p> <p>3：動詞文における場所の表現（文における場所名詞の場所）</p> <p>4：動詞完了態（動態助詞了の置く場所と働き）</p> <p>5：動詞の進行態（動態助詞着の置く場所と働き）</p> <p>6：動詞の経験態（動態助詞過の置く場所と働き）</p> <p>7：中国語における補語：程度・結果・方向・可能・時量・動量</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

- 8：中国語の疑問文：一般疑問文・疑問詞疑問文・肯定否定疑問文・選択疑問文
- 9：前置詞・接続詞・構造助詞
- 10：比較文・存現文
- 11：受身文・使役文
- 12：処置文・連動文
- 13：因果関係・逆接の複文
- 14：期末テスト

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席・授業参加・定期試験によって総合評価をします。

出席：30%

授業参加：30%

期末試験：40%

【オフィスアワー：授業相談】

時間帯は特に設けません。質問・相談があれば、随時応じます。

電話などで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

中国語は第二外国語として開講していますが、近年、中国語を第一外国語として学ぶ学生が年々増えていきます。例えば、交換留学制度を利用して中国の名門大学上海交通大学（電通大の姉妹校）に留学に行った学生は、2002年度年は1人、2003年度年は2人。他にも、一か月や三か月、半年の短期留学に参加した学生も結構いました。中国語学習は一時期のブームではなく、時代の流れになっています。こうした時代の流れをしっかりと掴んで下さい。

【その他】